

# 2023年3月社長会見

2023年3月27日

1. 営業・輸送概況
2. 福知山線列車事故追悼慰霊式
3. 「G7 広島サミット」における当社のセキュリティ対策の取り組み
4. JR西日本ホテルズ新ブランド  
「THE OSAKA STATION HOTEL, Autograph Collection」
5. 今年度の振り返り、来年度の展望

詳細

## 1. 営業・輸送概況

### 【運輸取扱収入（速報値）】

収入ですが、2月はコロナ前の2019年比で85.3%、3月は21日までで90.4%です。

#### 運輸取扱収入（速報値）

	前年同日比			
	収入計	近距離券	中長距離券	定期券
2月	173.4% (85.3%)	156.2% (102.7%)	214.4% (79.2%)	105.8% (89.2%)
3月(3/1~21)	148.1% (90.4%)	135.9% (107.1%)	165.3% (84.2%)	114.4% (96.6%)

※実績は直営の速報値。駅などでの取扱高(消費税を含む)を示すものであり、旅行会社での発売分などを除きます。

※ () 内は、コロナ前の2019年同日比。

### 【新幹線・在来線特急・近畿圏のご利用状況（速報値）】

ご利用状況は、山陽新幹線は、2月が2019年比で85%、3月は21日までで92%。近畿圏は、2月が102%、3月が21日までで106%です。

全体として回復基調が継続しており、山陽新幹線では、2月下旬以降、ご利用が9割前後で推移しており、2月前半から大きく改善しています。

3月18日に開業しました「大阪駅うめきたエリア」や「奈良線の第2期複線化」により、関西の交通ネットワークがさらに拡充し、より多くの方にご利用いただけるものと期待しています。

## 新幹線・在来線特急・近畿圏のご利用状況（速報値）

	前年同环比			
	山陽新幹線	北陸新幹線	在来線特急	近畿圏
<b>2月</b>	241% (85%)	227% (83%)	259% (77%)	146% (102%)
<b>3月(3/1~21)</b>	183% (92%)	186% (96%)	208% (82%)	130% (106%)

※実績は速報値。近畿圏は近距離券発売実績の前年同环比。

※（）内は、コロナ前の2019年同环比。

## 2. 福知山線列車事故追悼慰霊式

間もなく4月25日を迎えます。弊社が福知山線列車事故を惹き起こしてから18年になります。

改めまして、お亡くなりになられた方々に深くお詫び申し上げます。心よりご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様、お怪我をされた方々とご家族の皆様には、重ねて深くお詫び申し上げます。

先日お知らせさせていただいたとおり、4月25日、当日は「祈りの杜」において、追悼慰霊式を執り行わせていただきます。

「福知山線列車事故のような重大な事故を二度と発生させない」という変わらぬ決意を、弊社グループの役員・社員の一人ひとりが、日々の具体的な実践につなげていくため、あらためて事故の反省と教訓を強く心に刻みます。

さらなる安全性の向上に向け、私自身、先頭に立って取り組んでまいります。

## 3. 「G7 広島サミット」における当社のセキュリティ対策の取り組み

5月19日から21日の3日間、広島市で開催される「G7広島サミット」における、当社のセキュリティ対策につきまして、ご報告いたします。

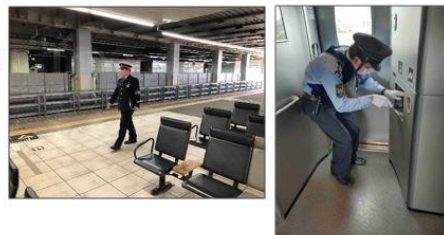
政府からの「警戒警備」強化の指示も踏まえ、係員や警備員による、駅・列車・重要施設における「巡回強化」や、主要駅のゴミ箱・コインロッカーの「使用停止」、重要施設の「ハード対策」などを実施します。

また、山陽新幹線の主要駅にて、「危険物探知犬」や「AIカメラ」を活用し、警察と連携を図りながら、警戒警備を強化してまいります。

万全の体制で、お客様の安全を確保すべく、JR西日本グループ一丸となって、対応してまいります。

### 各種セキュリティ対策

- 駅構内
  - ・巡回強化
  - ・主要駅でのゴミ箱・コインロッカーの使用停止
  - ・防犯カメラによる監視強化 等
- 列車内・重要施設
  - ・巡回強化
  - ・重要施設のセキュリティ強化 等



### 新たなセキュリティ対策

- 危険物探知犬を活用した警戒警備
  - ・山陽新幹線の主要駅にて危険物探知犬を活用した警戒警備を実施
  - ・これに合わせて、手荷物検査場を設置
  - ・必要な場合は、警察と連携の上、お客様にお声がけ・確認を実施
- AIカメラを活用した警戒警備
  - ・広島駅にて危険物・不審行動検知機能を有したAIカメラによる危険物等の監視を実施
  - ・AIカメラは事前に学習させた人の動きや物体を検知
  - ※株式会社クマヒラとJR西日本の共同開発

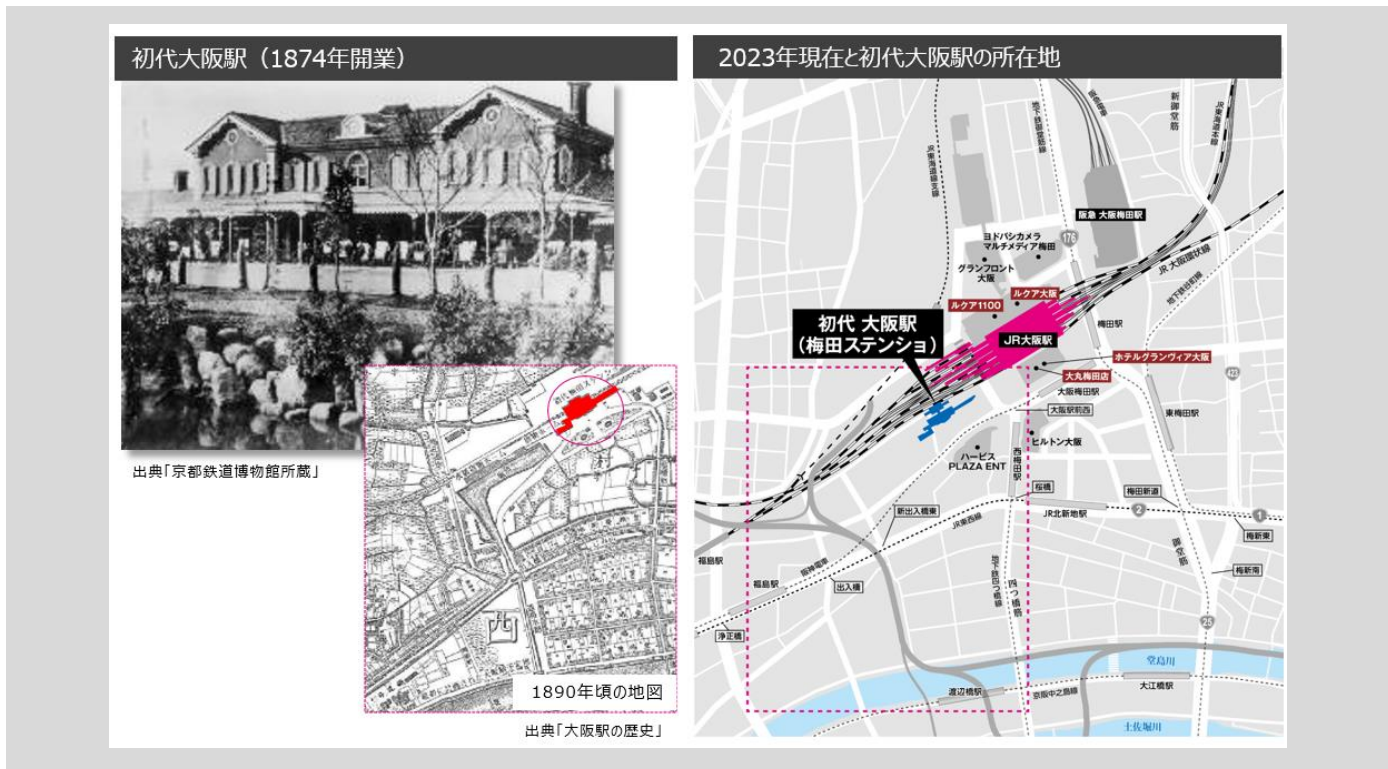
## 4. JR 西日本ホテルズ新ブランド

### 「THE OSAKA STATION HOTEL, Autograph Collection」

大阪駅西側エリアにおいて、JR 西日本グループが日本郵便様、JTB様と共同で「JPタワー大阪」の開発を進めておりますが、この中に開業する新しいホテルについてご紹介します。

#### 【大阪駅の歴史と変遷】

「JPタワー大阪」の建設地は、1874年、明治7年に、大阪・神戸間に関西で初めて鉄道が開通した際、初代大阪駅が開業した地であります。そして、その後、旧大阪中央郵便局に引き継がれ、人々の生活や旅の起点となっていた、大変歴史の深い場所です。



#### 【ホテル名称とロゴデザイン】

来年、2024年、初代大阪駅が誕生してから、150年の歳月を経て、まさに大阪駅の原点「THE OSAKA STATION」と言えるこの場所に、「JR西日本ホテルズ」の新たなブランドとして、「 Marriott International」と提携したホテルを開業します。

新しいホテルは、この歴史ある場所にお客様をお迎えできる喜びと、紡がれてきた歴史や文化、そして、その価値を未来へ継承しながら、ホテルのあるべき姿を追求し続けたい、との想いを込めて、その名称を「大阪ステーションホテル、オートグラフコレクション」と決定いたしました。

また、ロゴデザインは、「窓」、「車窓」、「線路」をモチーフとして、「繋がりや発展」を意味する形状で、人と人、人と街をシームレスに繋ぐという想いを込めています。

また、初代大阪駅の駅舎が「切妻屋根」を持った洋風建築であったことから、それをモチーフにした、象徴的な「ロビーラウンジ」を計画しています。

大阪駅直結という高い利便性を活かし、お客様と大阪・関西の街を繋ぐ「旅のターミナル」として、国内外の皆様にも愛されるホテルブランドを目指します。開業は2024年夏を予定しております。



# 「THE OSAKA STATION HOTEL, Autograph Collection」

2024年夏、初代大阪駅の地に、ここにしかない時空の路線をつなぎ、  
新たな旅人の物語がはじまります

- ◎ 1874年に開業した初代大阪駅は、赤煉瓦で造られた西洋式の駅舎で、新しい時代を象徴するランドマークとして、当時の人々を魅了し、旅人と街を繋ぎました。
- ◎ その後、大阪の発展と共に駅の移転と増改築を繰り返す中、ホテルを併設する計画もありましたが、第二次世界大戦の影響などから実現には至りませんでした。
- ◎ こうした歴史的な意義を踏まえ、鉄道の記憶と、先人たちの想いととも、150年の歳月を経て、初代大阪駅の地に、お客様をお迎えられる喜びと、紡がれてきた歴史や文化、その価値を未来へ継承しながら、ホテルのあるべき姿を追求し続けたいと、「大阪ステーションホテル」と命名しました。



正面玄関 (1F) イメージ



ロビーラウンジ (29F) イメージ



## ロゴデザイン

とき

歴史と未来が交差する時空の基点として、中央の空白部分は、窓、車窓、周囲は線路をモチーフとし、輪の形状は、繋がり、発展を意味しています。  
窓から見える旅を想起しながら、人と人、人と街をシームレスに紡いでいきます。

## 【大阪駅周辺エリアの開発】

また、大阪駅の周辺では、「JPタワー大阪」の線路を挟んで向かい側に、うめきた2期地区を前面に臨む「新駅ビル」が2024年秋に、さらに「うめきたエリア地上駅ビル」が2025年春に、順次開業してまいります。



## 【大阪駅のこれから】

拡大する大阪駅が世界とつながり、「人、まち、社会のつながりを進化」させ、都市の発展に貢献できることを期待しています。



## 5.今年度の振り返り、来年度の展望

### 【今年度の振り返り】

まず、グループとしての最重要課題である、鉄道の安全性の向上については、ソフト・ハード両面での取り組みを進めてまいりましたが、京都地区を中心とした降積雪への対応における、数々の不手際によって、多くのお客様に多大なるご迷惑をおかけするなど、安全を脅かし、信頼を損なう重大な事象も発生させました。

先月、公表させていただきました対策を、迅速かつ確実に実行し、お客様に安心してご利用いただけるよう、全力を尽くしてまいります。

「経営環境」としては、新型コロナウイルスの影響に加え、不安定な国際情勢など、引き続き厳しい状況が続きましたが、変化に対応すべく取り組みを進めてまいりました。

「ローカル線」の課題につきましては、地域の皆様と、それぞれの線区が抱える課題を共有し、少しずつ議論を深めるとともに、国において、課題を正面から受け止めていただき、法改正の審議を進めていただいております。

また、「運賃・料金」につきましても、社会変容を踏まえるとともに、バリアフリー設備の整備やサービス改善を図るため、4月1日から一部見直しを行うこととしております。

一方、年度の後半からは、鉄道をはじめ、グループ各事業のご利用も徐々に回復し、構造改革の成果と合わせ、第3四半期において「3期ぶりの黒字」を確保するなど、業績の回復を図ることができてきているところ です。

また、「アンドロイド版・モバイルI COCA」のサービスを開始するとともに、「大阪駅うめきたエリア」や「奈良線複線化」が開業するなど、次の発展につながる様々なプロジェクトが花開きました。

「うめきたエリア」を、イノベーションの実験場「JR WEST LABO」の中心と位置づけ、今回

導入した「フルスクリーンホームドア」や、「顔認証改札機」など、新しい技術も活用し、新たな価値創造に挑戦してまいります。

### 【来年度の展望】

2023年度は、「JR西日本グループ 鉄道安全考動計画2027」と、新たな「中期経営計画」がスタートする年になります。

引き続き、当社グループの経営の根幹として安全を位置づけるとともに、次の「進化・成長のステージ」に向けた礎を築いていく、重要な期間と捉えています。

先日、「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027」を公表させていただきました。

新たな鉄道安全計画では、「現場起点の考動」に取り組むとともに、「お客様を想い、ご期待にお応えする」ことを強く意識していくことで、安全に対する向きあい方を深め、組織風土として醸成していきたいと考えています。

そして、経営層をはじめ、JR西日本グループの一人ひとりが、安全最優先の考動を実践し、一丸となって、「お客様から安心、信頼していただける鉄道」を築きあげてまいります。

次に、来年度は、「兵庫DC」や「北陸プレDC」を開催いたします。地元の皆様と協力して、お客様のご利用促進をさらに図ってまいります。

そして、ポストコロナの新しい社会行動の中でも、お一人おひとりの暮らしに寄り添い、新たな需要を創り出していければと考えています。

また、まちづくりにおける主要プロジェクトの推進や、「WESTERポイント」の魅力向上などのデジタル戦略を通じて、事業間のシナジーを高めるとともに、これまでの事業活動で培った、当社グループの強みを活かし、必ずしも「移動に連動しない分野」も含め、事業領域の幅を広げていくことに挑戦していきます。

さらに、「北陸新幹線敦賀開業」、「大阪・関西万博」に向けた準備を着実に進めるとともに、それぞれの効果を最大化すべく、機運を高めてまいりたいと思います。

こうした取り組みを、着実に進めていくことにより、「人、まち、社会のむすびつきを進化」させ、地域の皆様をはじめ、国内外の多くのお客様の「ここを動かし、未来を動かす」ことにつながっていくことを期待しています。

#### 今年度の振り返り

- ・安全性向上と、変化対応力を高める企業改革に、集中的に取り組んだ1年
- ・安全性向上に向けた取り組みを実行するも、安全を脅かし、信頼を損なう重大な事象を発生させた。迅速かつ確実な対策の実行に全力を尽くす
- ・持続可能な交通体系の実現に向けた議論の深度化や、運賃・料金の一部見直しを決定
- ・「モバイルICOCA」や「大阪駅(うめきたエリア)」、「奈良線複線化」などのプロジェクトが開花し、新たな価値創造にも挑戦
- ・グループ一丸となった取り組みにより、第3四半期において3期ぶりの黒字を確保

#### 来年度の展望

- ・「JR西日本グループ 鉄道安全考動計画2027」と、新たな「中期経営計画」がスタート
- ・「福知山線列車事故のような事故を二度と発生させない」という責務と変わらぬ決意のもと、グループ一人ひとりが、いかなるときもお客様を想い、ご期待にお応えする安全最優先の考動を実践
- ・鉄道事業をはじめとする各事業の活性化にむけ、「兵庫DC」・「北陸プレDC」等の機会を活用したご利用促進と、お一人おひとりの暮らしに寄り添い、新たな需要の創出に取り組む
- ・まちづくり、デジタル戦略を通じた事業間のシナジー強化と、「移動に連動しない分野」を含めた事業領域の幅を広げていくことにも挑戦
- ・「北陸新幹線・敦賀開業」、「大阪・関西万博」にむけ、着実に準備を進め、効果を最大化すべく、地域の皆さまとともに機運を高めていく